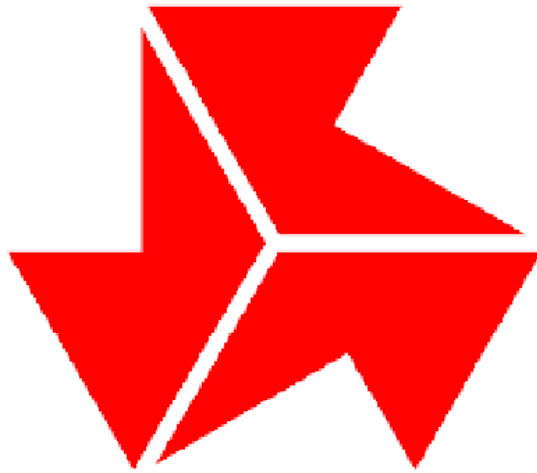


2019年度（令和元年度）

南信高等学校総合体育大会 登山競技大会



期 日 2019年 5月10日（金）～ 5月11日（土）

会 場 下伊那郡松川町 長野県松川青年の家周辺～烏帽子岳一帯

主 催 南信高等学校体育連盟

主 管 南信高等学校体育連盟 登山専門部

◇ 競技役員

大会長	埋橋 浩 (伊那北高校長)		
会場長	原 康倫 (OIDE長姫高校長)		
競技委員長	小西 透 (飯田風越)		
競技役員	鈴木健斗(岡谷南) 福澤 桂(伊那北) 松本孝幸(下伊那農業) 宮澤 豊(飯田風越)	竹内一郎(岡谷工業) 池迫一行(赤穂) 半田敬一(OIDE長姫)	立木雅彦(下諏訪向陽) 酒井幸雄(飯田) 藤田晶子(OIDE長姫)

◇監督及び引率職員

竹内 佳一 (諏訪清陵)	鈴木健斗 (岡谷南)	半田敬一 (OIDE長姫)
三石 秀文 (諏訪清陵)	酒井幸雄 (飯田)	中塚みね子(OIDE長姫)
菊池 完一 (岡谷工業)	小林佳代子 (飯田)	藤田晶子 (OIDE長姫)
竹内 一郎 (岡谷工業)	小西 透 (飯田風越)	松本孝幸 (下伊那農業)
山岸 英治 (岡谷工業)	宮澤 豊 (飯田風越)	清水茂子 (下伊那農業)

◇大会会場 下伊那郡松川町 松川青年の家周辺～烏帽子岳一帯

◇集合場所 松川青年の家
(宿泊地) 下伊那郡松川町大島2750-284 TEL 0265-36-4700

◇大会日程 (行動予定)

5月10日 (金)

- 9:00 松川青年の家集合、受付、開会式
(競技準備、テント設営)
- 11:00 競技開始 (サブザック行動)
松川青年の家および松川清流苑周辺地域においてオリエンテーリング競技
スタート及びゴールは、松川青年の家 敷地内に設営
- 16:00 1日めの競技終了
- 16:30～
炊事、夕食、
- 21:00 就寝

5月11日 (土)

- 5:00 起床、朝食準備、朝食
- 6:00 競技開始 (松川青年の家出発、サブザック行動)
およりの森登山口から鳩打峠、烏帽子岳の区間で読図審査
- 15:00 鳩打峠へ下山し、自動車で松川青年の家に移動
- 16:00 閉会式
- 16:30 解散

◇競技方法

- ・1チーム1～4名の対抗戦とする。メンバー変更は当日受付までとし、以後2日目競技終了まで変更は認めない。

【1日目】

- ・松川青年の家周辺を使用し、スコアオリエンテーリング（競技地図上に記載されたチェックポイントを自由な順番で回りタイムを競う）形式により行う。
- ・チェックポイント（ポスト）に書かれている記号とパンチの両方を指定の記録用紙に記録した場合にポイント点を付与する。
- ・ポイント点200点+時間点50点の合計点を1日目の得点とする。
- ・競技開始後、3時間以内にゴールしたチームは、時間点を満点とし、以後1分を越える毎に1点ずつ減点する。
- ・スタートは全チーム一斉で行う。
- ・競技開始後3時間30分を過ぎた時点で競技を中止し、松川青年の家に戻ることに。

【2日目】

- ・コースに設置されたポイントを競技用地図に記入し、地点確認の正確さを審査する読図競技を行う。松川青年の家から烏帽子岳山頂までの往路コースに5ポイントをおく。1ポイント10点とする。
 - ・競技中は、隊行動とし、休憩毎にチームの順序を入れ替える。
 - ・原則として、ポイント地点では、行動を停止しない。
-
- ・2日間の得点合計が同点の場合、1日目の競技所要時間の少ないチームを上位とする。
 - ・競技地図は大会本部で用意するが、雨天でも競技地図を濡らさない工夫をすること。
 - ・表彰は男女とも3位までとする。
 - ・競技中は常にチーム行動とし、同一校であってもチーム間の相談は厳禁とする。スポーツマンシップに則って競技すること。
 - ・競技中は、GPS等の位置測定機能を有する機器、気圧高度計の使用は禁止とする。違反した場合は、失格とする。携帯電話、スマートフォン、一部のデジタルカメラ、時計など、位置測定機能を有する機器は、顧問に預ける。
 - ・競技は雨天決行であるが、悪天候の場合は、日程・競技内容が変更になる場合がある。

◇その他

- ・事前に事故、怪我、遭難時の捜索等に対応できる保険に加入しておいてください。
- ・5月中旬1泊2日の山行に適した装備・食料（1日目昼食・夕食、2日目朝食・行動食）を準備してください。ガソリンの使用は禁止します。本大会では野外の炊事スペースで薪を使って炊事することを可としますが、後片付けを確実に行ってください。
- ・天候急変や非常時に備えた装備（フリースやセーター、手袋、帽子またはヘルメット、雨具、ヘッドランプ、化繊の衣類、着替え）を準備し、非常食、飲料は必ず持参してください。水は宿泊地で補給できます。
- ・テント場は標高770mですが、必ず防寒対策をしてください。
- ・国土地理院1/25000地形図では「安平路山」「伊那大島」の範囲ですが、本大会では行動エリア全体を含む地形図で可とします。コンパス、黒色ボールペンを持参してください。
- ・選手はテント泊、監督顧問はテント泊または青年の家研修室等での宿泊となります。いずれも、宿泊費はかかりませんが、青年の家泊でも寝具等はありませんので、各自でご準備ください。また、食事の提供はできないので、監督、顧問も原則として自炊か、生徒と共同の食事とします。

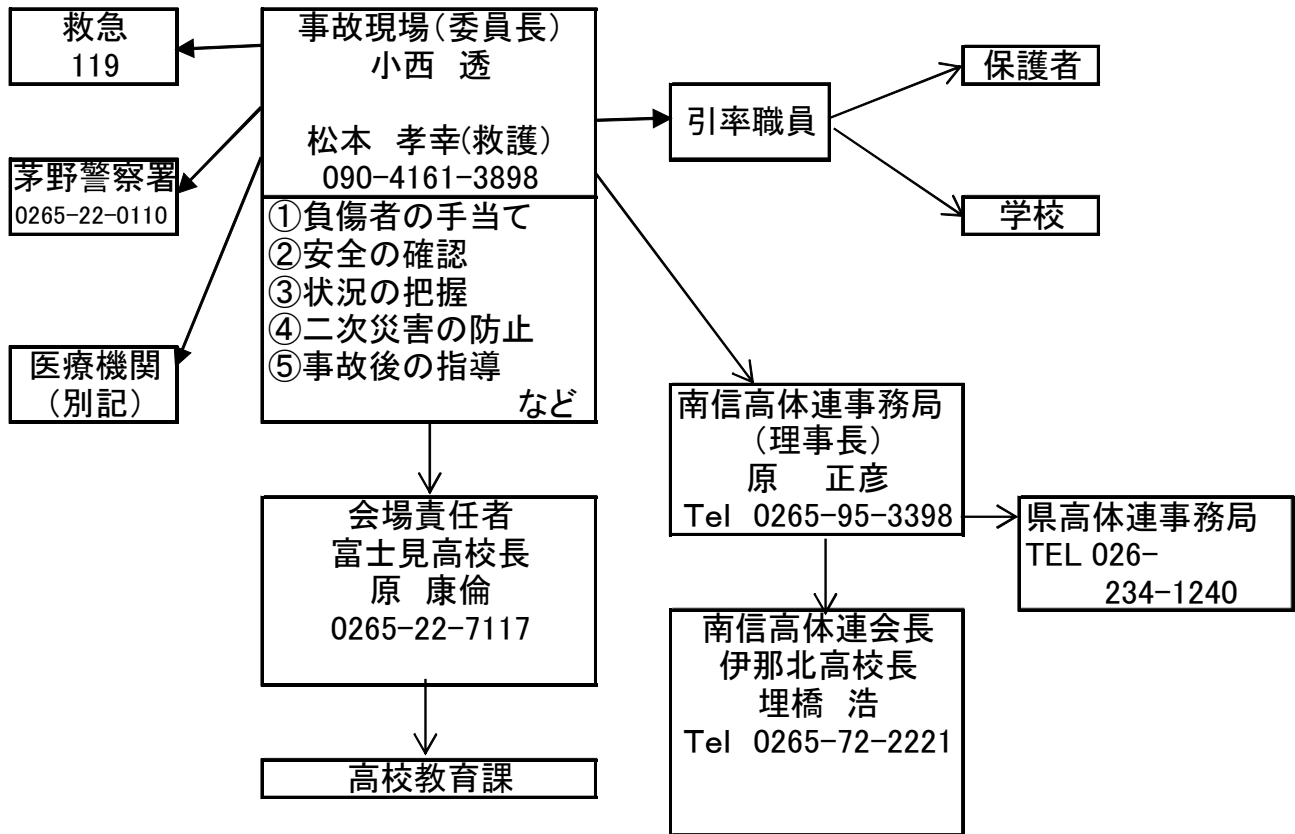
◇選手名簿 男子

		学校名	チーム	氏名	フリガナ	学年			
男子	1	1	岡谷工業	A	安慶名 琉	アゲナ リュウ	2		
	2	2			石黒 友耀	イシグロ トモキ	2		
	3	3			碓井 壮馬	ウスイ ソウマ	2		
	4	1	岡谷南	A	小林 陽大	コバヤシ ヒナタ	3		
	5	2			伊藤 涼平	イトウ リョウヘイ	2		
	6	3			野中 大地	ノナカ ダイチ	1		
	7	4			増澤 勇人	マスザワ ユウト	1		
	8	5		B	濱 拓郎	ハマ タクロウ	2		
	9	6			細川 賢太郎	ホソカワ ケンタロウ	2		
	10	7			宮沢 圭吾	ミヤザワ ケイゴ	2		
	11	8			早川 隼平	ハヤカワ シュンペイ	1		
	12	1	諏訪清陵	A	芦川 巧実	アシカワ タクミ	2		
	13	2			雁木 鉄平	カリキ テッペイ	2		
	14	3			田中 誠	タナカ マコト	2		
	15	1	飯田	A	小林 篤郎	コバヤシ アツロウ	2		
	16	2			安田 岳流	ヤスダ タケル	2		
	17	1	飯田風越	A	今村 諒哉	イマムラ リョウヤ	3		
	18	2			勝又 春翔	カツマタ ハルト	1		
	19	3			近藤 淳也	コンドウ ジュンヤ	1		
	20	4		B	福与 天真	フクヨ テンマ	3		
	21	5			原 翔哉	ハラ ショウヤ	2		
	22	6			福沢 天仁	フクザワ テンジン	1		
	23	7			松島 龍平	マツシマ リュウヘイ	1		
	24	8		C	佐原 勇二	サハラ ユウジ	3		
	25	9			松下 航喜	マツシタ コウキ	3		
	26	10			城田 隆吾	シロタ リュウゴ	1		
	27	11			寺澤 友翔	テラサワ ユウト	1		
	28	1	OIDE長姫	A	城田 大輝	シロタ タイキ	3		
	29	2			中原 洸瑛	ナカハラ コウエイ	3		
	30	3		B	田中 聖人	タナカ マサト	3		
	31	4			伊藤 玄騎	イトウ ゲンキ	2		
	32	5		C	池戸 成羽	イケド ナルハ	3		
	33	6			吉沢 雄人	ヨシザワ ユウト	2		
	34	7			北林 優汰	キタバヤシ ユウタ	1		
	35	1	下伊那農業	A	田中 夢翔	タナカ ユウト	3		
	36	2			松澤 祐希	マツザワ ヒロキ	3		
	37	3			吉澤 裕馬	ヨシザワ ユウマ	3		

◇選手名簿 女子

		学校名	チーム	氏名	フリガナ	学年			
女子	1	1	岡谷工業	A	岩城 里佳	イワキ リカ	3		
	2	2			吉田 あゆみ	ヨシダ アユミ	1		
	3	1	岡谷南	A	服部 明里	ハットリ アカリ	3		
	4	2			小野 静	オノ シズカ	2		
	5	3			宮野 瑛星	ミヤノ アキホ	2		
	6	4			前田 唯月	マエダ イツキ	1		
	7	5		B	浅野 光那	アサノ ミナ	2		
	8	6			宮野 栞月	ミヤノ シズキ	2		
	9	7			米窪 楓菜	ヨネクボ フウナ	2		
	10	8			小出 歩佑果	コイデ アユカ	1		
	11	1	諏訪清陵	A	上条 心咲	カミジョウ ミサキ	2		
	12	2			高橋 春綾	タカハシ ハルア	2		
	13	3			中嶋 密	ナカジマ ヒソカ	2		
	14	1	下伊那農業	A	石原 欣恵	イシハラ ヨシエ	2		
	15	2			岡村 茉奈	オカムラ マナ	2		
	16	3			金田 荘子	カナダ ショウコ	2		

◇緊急時連絡系統図



1. 応急手当及び安全の確保

- ①救護担当者または学校関係競技役員（以下役員）、救護係は負傷の程度を確認し可能な応急手当を施す。
- ②他の役員が救急車の出動を要請し、到着するまでの間に関係者から事故の状況を把握しておく。
- ③救急車には役員及び引率者が同乗する。
- ④現場に残った役員は生徒達の不安を取り除き、大会の中断や中止を検討するとともに、現場の保存を行う。

2. 危機管理体制の確立

- ①専門委員長は緊急時のマニュアルに基づき、関係役員に対応を指示する。
- ②記録者を定め、事故発生時の状況や発生直後の対応など、事故の経緯について簡潔かつ詳細に記録する。
- ③情報の混乱を避けるため、関係機関との対応はすべて専門委員長があたり、窓口を一本化する。

◇関係機関連絡先

松川町役場	0 2 6 5 - 3 6 - 3 1 1 1
下伊那赤十字病院	0 2 6 5 - 3 6 - 2 2 5 5
救急車	1 1 9
飯田警察署	0 2 6 5 - 2 2 - 0 1 1 0